

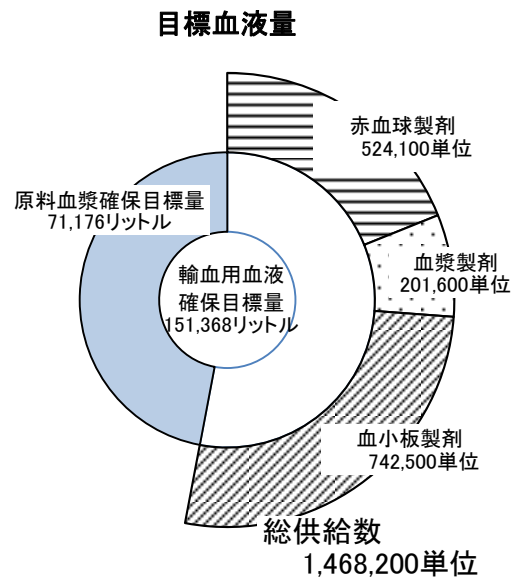
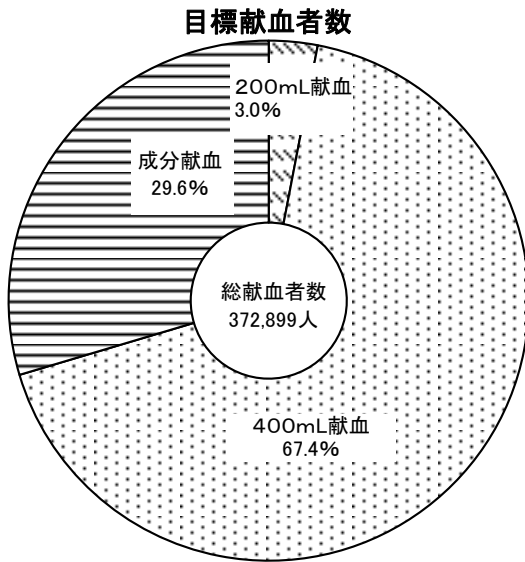
# 平成29年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で93.5万リットル(平成29年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

\* より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、95.7%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・赤血球製剤及び血小板製剤の1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。  
 ・血漿製剤の単位内訳は、LR-120が1単位、LR-240が2単位、LR-480が4単位です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オーブン献血含む)	
全血献血	200mL	11,263	3.0%	2,253	186	4,759	6,318
	400mL	251,229	67.4%	100,492	6,081	112,470	132,678
成分献血	血漿	51,128	29.6%	46.3%	24,912	5,093	46,035
	血小板	59,279		53.7%	23,712	3,114	56,165
合計	372,899		151,368	14,474	219,429	138,996	